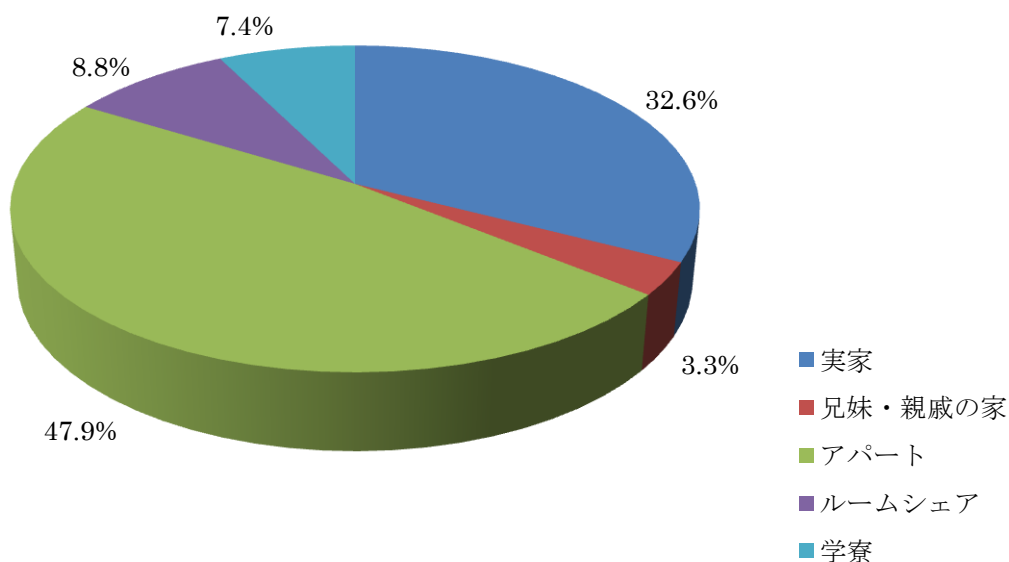


平成 24 年度 第 1 回創価女子短期大学学生アンケートの実施結果

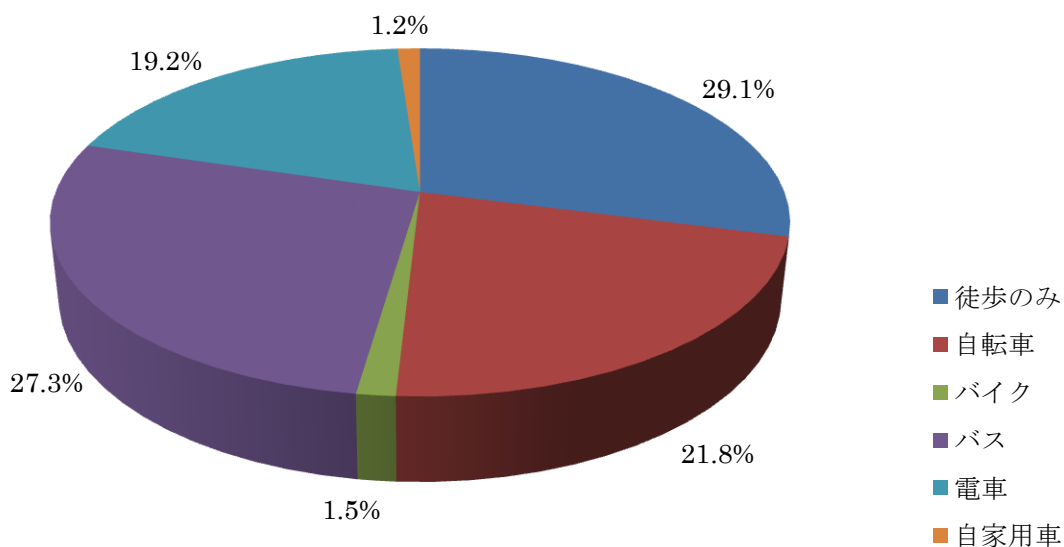
1、 通学・居住形態

卒寮の際に、一人暮らしについてガイダンス等を実施しているが、2年生の半数がアパート暮らしとなっている状況を踏まえ、更にきめ細かな支援を検討、実施する必要があると思われる。ルームシェアも 8.8%あり、今後、実態を調査して、学生支援につなげていきたい。通学方法から近隣で徒歩のみでの通学が多いことが分かる。夜間の帰宅の際の注意等を更に促す必要があり、バイク・車等も含めて、交通安全の対策を講じていきたい。

居住形態

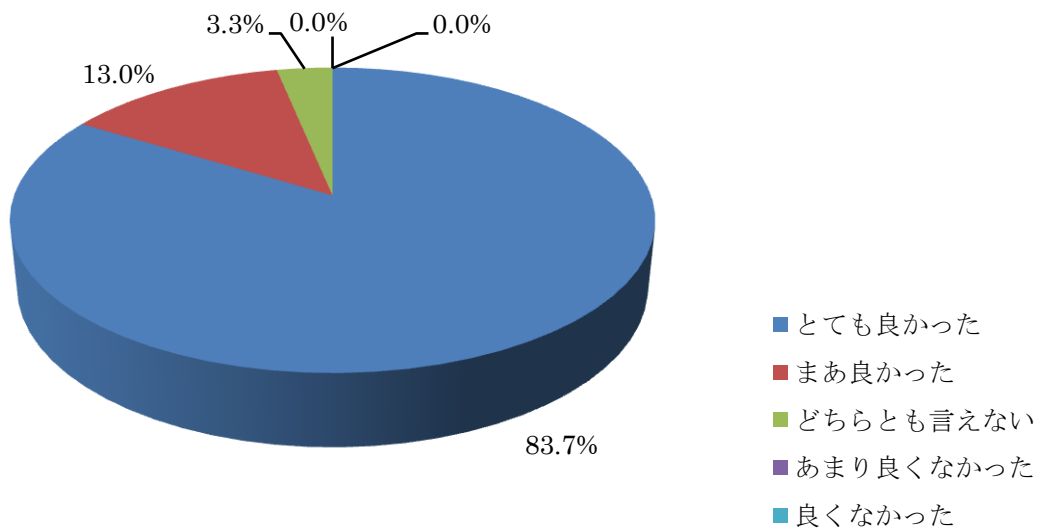


通学方法



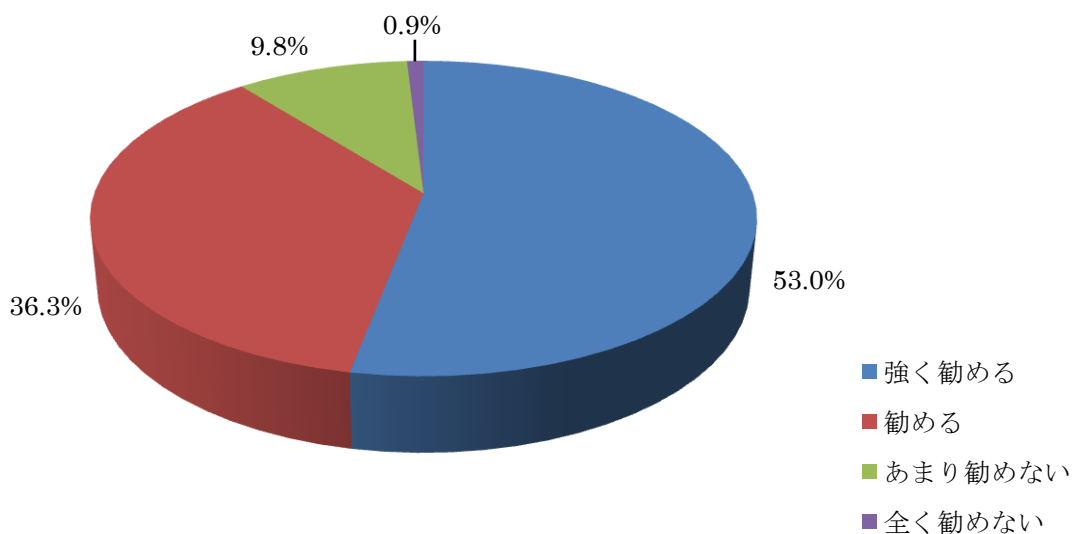
2、 創価女子短期大学に入学して良かったと思いますか。

短大入学後の満足度は「とても良かった」+「まあ良かった」で96.7%と高い結果となっている。学生は、学問や教員・友人との出会い、クラブ活動など創価女子短期大学における様々な活動・経験を通して満足度を感じると思われるが、2年生の段階でトータル的にこれだけの高い数値を示していることは、創価女子短期大学が掲げる「学生第一」の理念が、随所に浸透していると見たい。



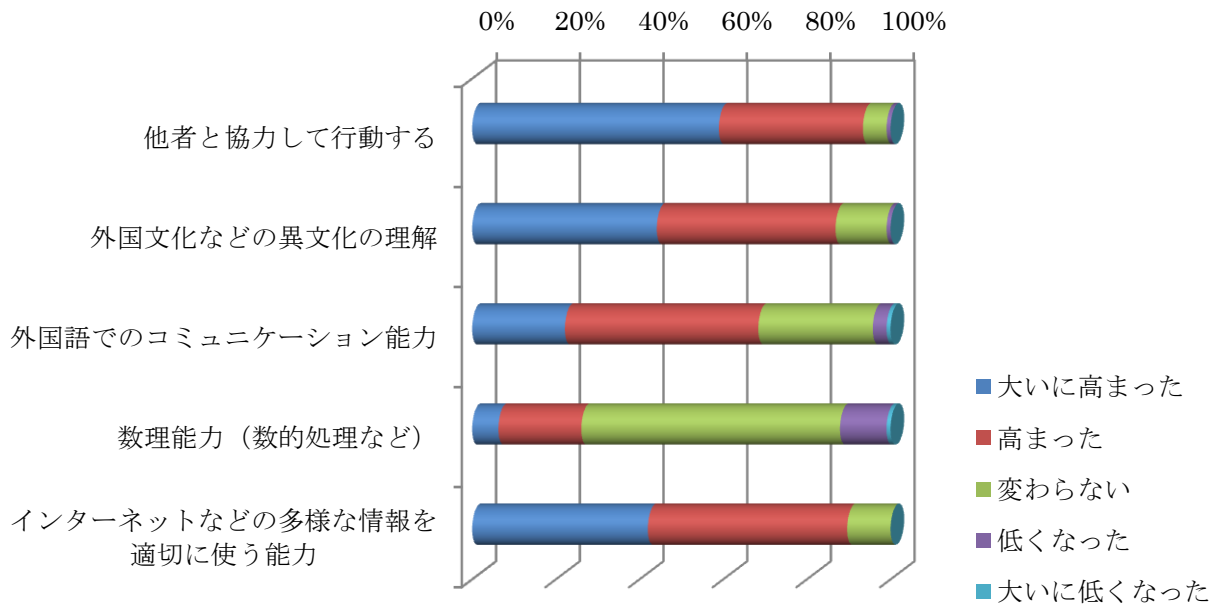
3、 自分の子供に創価女子短期大学入学を進めるか。

「強く勧める」「勧める」という回答は81%と極めて高い。短大の満足を図る指標は多岐にわたるが、その中でこの質問こそ、その短大への満足度が集約されると考える。「創価女子短期大学に入学して良かった」と言っていただけの短大作りにさらに努力していきたい。



4、 入学時に比べて変化した能力・知識

他者と協力して行動するが、最も高く 93.4%、次に多様な情報を適切に使う能力が 89.6%となっている。外国語でのコミュニケーション能力も 68.4%が「大いに高まった」「高まった」となっているが、数里能力の向上が 26.1%と低い数値となっている。進路にも求められる能力であり、向上の対策が必要である。



5、 科目履修の際に重視する項目

教養及び専門的な知識が身に付くこと、授業の楽しさや教員の人柄、さらには視野が広がることを「とても重視する」「重視する」で 90%を超えており、履修の際の強い動機になっている。反面、単位の取りやすさは 50%、友人の履修の有無は 10%と低い数値となっており、影響が少ないことを示している。

